

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道防災課
担当課長名：下保 修

事業名	地域高規格道路 一般国道2号 三原バイパス	事業区分	一般国道 (2次改築)	事業主体	中国地方整備局
起終点	自：広島県三原市糸崎8丁目 至：広島県三原市新倉2丁目	延長	9.9 km		
事業概要	<p>一般国道2号は、大阪市から北九州市に至る延長約680kmの主要な幹線道路であり、西日本の大動脈として沿道地域の産業・社会活動や住民の生活に大きな役割を果たす重要な路線である。</p> <p>三原バイパスは、広島県三原市内の慢性的な渋滞の緩和、交通安全の確保、主要都市間の連携強化を目的とした延長9.9kmの4車線道路である。</p>				
S46年度事業化	S58年度都市計画決定 (H3, H12年度変更)	S61年度用地着手	H元年度工事着手		
全体事業費	1,392億円	事業進捗率	57%	供用済延長	6.9km
計画交通量	40,700~45,500 台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.9 (残事業) 5.7	総費用 (残事業)/事業全体 457 / 1,542 億円 事業費：412 / 1,497 億円 維持管理費：45 / 45 億円	総便益 (残事業)/事業全体 2,624 / 4,439 億円 走行時間短縮便益：2,291/3,863億円 走行経費減少便益：266 / 445 億円 交通事故減少便益：67 / 131 億円	基準年	平成19年
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=6.5 (交通量+10%) B/C=5.1 (交通量-10%)</p> <p>事業費変動：B/C=5.3 (事業費+10%) B/C=6.3 (事業費-10%)</p>				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道等の年間渋滞損失時間が削減される） 安全で安心できる暮らしの確保（福山市民病院までの救急搬送時間短縮） 他16項目に該当 				
関係する地方公共団体等の意見	<p>本道路の整備により、三原市の中心市街地から通過交通が排除され、交通の円滑化が図られるとともに沿道環境が改善し、市民生活の快適化と中心市街地の活性化が期待されることから、関係市（三原市）からも早期全線供用（暫定2車）を強く求められている。</p>				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>平成10年に三原バイパスを含む福山本郷道路が、地域高規格道路の計画路線に指定される。更に平成18年4月に、しまなみ海道が全線供用したことにより、三原バイパスは、交流促進の道路ネットワークとして重要となっている。</p>				
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成18年度末時点で、用地買収については約99%が完了。</p>				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>平成19年5月末までにバイパスの一部（L=6.9km）を供用済。現在、平成20年代前半全線暫定2車供用を目指し、事業を進めているところである。</p>				
施設の構造や工法の変更等	<p>新技術の活用（TBMの導入）等によりコスト縮減を図っている。</p>				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	<p>以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。